

## 令和3年度 第74回高知県高等学校体育大会ハンドボール競技の 実施における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

高知県高等学校体育連盟ハンドボール専門部

### 1. はじめに

本ガイドラインは、日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び（公財）日本ハンドボール協会「安全なハンドボール競技活動のためのガイドライン」に基づき、第74回高知県高等学校体育大会ハンドボール競技の開催に向けた指針として作成しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況やこれに関する知見の積み上げなどによる状況変化に応じて基本方針を見直すことがあることについてご留意ください。

### 2. 大会開催時の感染防止策について

#### 1) 全般的な事項

- ① 感染防止のため主催者が実施すべき事項等をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること
- ② 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- ③ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日は役員・補助役員・参加者の体調を書面により確認し、提出された書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと
- ④ 大会に参加する全ての者（選手・役員・大会関係者等会場内に入る者）は、競技中以外はマスクを着用すること
- ⑤ 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の保健・衛生部局とあらかじめ検討しておくこと
- ⑥ レフェリー・MO・オフィシャル役員については以下のことに注意をすること
  - ア 控え室は密を避けるように配慮すること
  - イ 選手、チーム役員・競技役員との握手やハイタッチ等は行わず、エアタッチや会釈で済ませること
  - ウ 通信機器等を使い回すときは、必ずウイルス除去機能のあるウェットタオル等を使用すること
  - エ 要最小限の人員で対応すること（MO1、TD2、SK、TKの5名場合によっては4名マク着用）
  - オ 握手等はレフェリーと同様行わず、筆記用具等は、個人のもを持参すること（ストップウォッチ、ホイッスル、ホイッスルカバーも持参したものを使用）
  - カ オフィシャル席やベンチ席は試合ごとに消毒すること
- ⑦ 開閉会式及び諸会議等については、行わない。

#### 2) 大会参加時の申合せ事項

- ① 選手が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること（大会当日に書面で確認を行う）
  - ア 体調がよくない場合（例：発熱概ね37度5分以上・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合）
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ② マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には必ずマスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い，アルコール消毒液等による手指消毒を実施すること
- ④ 他の参加者，主催者スタッフ等との距離を確保すること
- ⑤ 大会中に大きな声で会話，鳴り物での応援等をしないこと
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守，主催者の指示に従うこと
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は，開催地実行委員会に対して速やかに濃厚接触の有無等について報告すること
- ⑧ 無観客で開催する。状況の変化によっては，変更もありうる。
- ⑨ 大会前後のミーティングにおいても，三つの密を避けること

### 3) 大会会場で準備すべき事項

- ① 選手や役員の書類提出及び動線について
  - ア 会場受付入口を指定にして検温場所、出書類確認場所、抗体検査キット保管場所を設置すること
  - イ 様式1-①②の写し、様式2-①②を受付で提出確認をすること
  - ウ 提出用紙確認終了後，全員に検温を行うこと
  - エ 検温後会場内への動線を表示すること
  - オ 入口と出口を別にするなど，選手役員が密にならないように動線に配慮すること
- ② 手洗い場所
  - ア 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - イ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - ウ 参加者には，手洗い後に手を拭くためのマイタオルを用意させること（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない）
  - エ 手洗いが難しい場合は，アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ③ 更衣室，休憩・待機スペース
  - ア 広さにはゆとりを持たせ，他の参加者と密になることを避けること
  - イ ゆとりを持たせることが難しい場合は，一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
  - ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ，ロッカーの取手，テーブル，イス等）については，こまめに消毒すること
  - エ 換気扇を常に回す，換気用の小窓をあける等，換気に配慮すること
  - オ スタッフが使用する際は，入退室の前後に手洗いや手指消毒をすること
  - カ シャワールーム・ジェットタオルの使用は不可とすること
- ④ トイレ（洗面所）
  - ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ，水洗トイレのレバー等）については，こまめに消毒すること
  - イ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
  - ウ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - エ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - オ 参加者には，手洗い後に手を拭くためのマイタオル用意させること
  - カ 洗面所出入口付近に，アルコール等の手指消毒剤を用意すること

## ⑤ 飲食

- ア 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう表示掲示や声を掛けること
- イ 役員・選手とも、飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避けること
- ウ 大会中の飲食は必要最低限にとどめ、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話はせずに食事をとること
- エ 選手の飲食は、参加校の責任において喫食させるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせること

## ⑥ 会場

- ア 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- イ 換気設備を適切に運転すること
- ウ 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- エ 怪我人の処置室とは別に体調不良者用の待機場所を設置すること
- オ 選手同士の接触機会を減らすために滞在区域を区分けし、動線を確保すること
- カ 会場受付で毎日検温を実施するため、非接触型体温計を用意し、検温時密にならないように配慮する

## ⑦ ゴミの廃棄

- ア 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- イ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

## ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症したと報告を受けたら、主催者に対して速やかに報告すること。

## 4) 競技会場入場者について

- ① 競技会場に入場できるのは、申請をした大会役員・チーム役員・選手・学校教職員・外部コーチのみ
- ② 事前に申請をしたメディアおよび学校写真撮影関係者のみ

## 5) 参加チーム・選手について

### ① 競技中

- ア エントリー外の生徒は入場できない。
- イ スタッフ・出場機会を待つ選手はマスクを着用。ただし、競技の特性上、選手交代が目まぐるしく行われるので交代選手にとっては、その限りではない
- ウ ベンチでの応援は拍手のみとし、大きな声による指示や応援は行わない
- エ 素手でのハイタッチや握手等は控える
- オ 円陣を行う際の声出しは、可能な限り選手同士の間隔を取り、最短時間で済ませる。
- カ 競技中の選手間のコミュニケーションのための声掛け、発声については妨げないが、プレー中断時などは、相手との距離や飛沫を考慮し、一程度の距離を保つことや、向き合わないなどの工夫をする
- キ 監督（指導者）からの指示などの際は、選手との距離（できるだけ 2m、最低 1m）を意識する。また、監督、コーチなどチーム役員はしなければならない。
- ク ハーフタイム時や試合間は換気を行う。
- ケ ハーフタイムや競技終了後に、ロッカー（更衣）室等に引き上げる場合は、動線が混雑しないよう努める。
- コ 試合終了後、チームとして観客席等に挨拶を行う場合は、選手らの距離が保たれるよう留意する。握手やハイタッチ、抱擁は行わない。
- サ 水分補給のためのペットボトル等の共用はしない。また、ペットボトル等は所有者が分かるよう記名や目印を記すようにし、他者から触れられないようにする。

### ② 競技終了後

- ア その日の競技が終了したチームは、速やかに帰宅すること。

## 6) 部員又はチーム役員・顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の対応

### ① 大会前（2週間）

- ア 当該部員、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない
- イ 試合開始30分前までの選手・役員の変更を認める

### ② 大会期間中

- ア 当該部員、顧問、濃厚接触者と特定された者は入場・出場を認めない

### ③ 大会後

- ア 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従うこと
- イ 実行委員会は、速やかに報告書を作成し、感染者が参加した大会当日に会場内にいた全ての者に連絡をすること

## 3. 個人情報の取り扱いについて

本大会においての個人情報については、連盟が適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用する

個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供しない。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供する場合がある

## 4. 大会開催判断と対応について

### 1) 大会実施可否の判断について

- ① 大会実施可否については、県高体連及び専門部と緊密な連携の下、決定する
- ② 大会実施を決定後に感染状況が拡大した場合は、大会直前であっても中止があり得る。

### 2) 大会を中止した場合の対応について

- ① 連続優勝、出場等については途切れずに続いているものとみなす。
- ② 優勝旗・杯等については前年度優勝校が管理し、次年度開催の際に返還する。